

## 弓ヶ浜中学校区の取組

1 心の教育・生徒指導（児童会・生徒会連携による自治の取り組み）

（1）弓ヶ浜中学校区小中一貫リーダー研修

平成28年10月7日16時より弓ヶ浜中学校図書室において、第1回弓ヶ浜中学校区小中一貫リーダー研修を実施した。参加者は、弓ヶ浜中学校生徒会役員8名（旧役員2名・新役員6名）、弓ヶ浜小学校3名、彦名小学校2名の13名で研修を行った。

研修内容としては、開会の後「アイスブレイク」で参加者の緊張をほぐし、話し合い活動（意見交換）を中心に実施した。



参加者を2つのグループに分け、全体の進行を弓ヶ浜中学校の新生徒会長、それぞれのグループのファシリテーターを生徒会の役員が担当し、話し合いを進めた。

意見交換の内容は、

- ① 自校の良いところは何ですか。
- ② 自校で気になるところは何ですか。
- ③ 中学校進学に向けて、心配なことはないですか、の3点にしばった。

話し合いは、小学生がやや緊張気味であったが、



ファシリテーターの進行により、次第に盛り上がり活発な意見交換ができた。

あいさつ、服装、掃除、廊下歩行、交通ルール、学習態度など自校の良い点や課題点を客観的にとらえていた。また、中学校進学に向けては、他学校の生徒や先輩等との関係や部活動、学習の難度、教科別の学習（教員）など多くの意見が出てきた。それに対して、ファシリテーター役の中学生を含めた生徒会役員が、自分たちの経験を踏まえ、小学生に適切に助言していた場面が多く見られた。中学校生活に関わる多くの情報を、先輩中学生から直接聞くことは、小学生にとっては、進学についての不安を除く



と同時に先輩への信頼ができたことであろう。研修に参加した中学生も自分たちの自治の取り組みを紹介することは、生徒会活動や日ごろの自治生活への肯

定感が増したことと思われた。

以下は、参加者の感想である。

- 中学校に進学したら、いじめなどないか心配でしたけど、中学生の話を聞いて、他の学校の人とも仲良くなれそうなので、安心しました。中学生になるのが楽しみにになりました。
- 中学生の話を聞いて、私も中学校に入学したら挨拶ができるようにしたいと思った。
- 今日の研修で中学校の人にいろいろ教えてもらったので良かったです。
- 小学校と中学校に共通する良い点や課題があった。小学生が抱えている不安は、自分たちの入学前と同じであるということが分かった。これからも楽しい学校にしていくので、安心して入学してほしい。これからも元気な挨拶ができるように、一緒に頑張りましょう。

## (2) 中部地震共同募金活動

弓ヶ浜中学校生徒会の呼びかけで、11月7日朝8時より、中部地震への支援募金を、福祉委員会と共同で行った。



登校してきた児童は、中学生と小学生が並んで募金を呼びかける姿を見て、最初は戸惑っていたが、本校の卒業生と分かるとうれしく挨拶を交わしたり募金に協力したりする姿が見られた。中学生の元気の良い挨拶や募金呼びかけの大きな声は、良い見本になっていた。

中学校の生徒会と小学校の福祉委員会が、事前に募金の趣旨や方法を話し合い、募金箱やポスターを準備した。また、集まった募金についても、小学校の福祉委員長から中学校の生徒会役員に引き渡すことができた。



中学生と小学生が、自分たちで計画し行動する活動を通して、自治の力が育ち、小学校と中学校のつながりが一層しっかりできてきた取り組みである。今後は、地域と連携した小中合同のあいさつ運動や、生徒企画の入学説明会等へつなげるなど、小中連携を一層進めたい。



## 2 健康教育（基本的生活習慣の育成）

### （1）生活いきいきキャンペーン～家族会議～ の取り組み

弓ヶ浜中学校区では、平成21年より、「いきいきキャンペーン～家族会議～」と称して、PTAと連携しながら、各学校で期間を決めてメディアと健康教育や学習の関係を意識した取り組みを実施してきた。

今年度は、平成28年7月6日（月）から7月3日（日）の7日間実施した。各自（各家庭）で目標を設定し、点検チェックして提出をしている。提出率（回収率）は、以下のとおりである。

○弓ヶ浜中学校1年：73% 2年：59% 3年：76%

○弓ヶ浜小学校：95%

○彦名小学校：90%

- ◎ 弓ヶ浜中学校では、今回の家族会議は、「家族で話そう！我が家のメディア（テレビ・パソコン・携帯・ゲーム）ルール！教えて！我が家のルール！」という題目でメディアに関する話し合ってもらった。キャンペーン期間中は、我が家で決めたルールが守れたかどうか各家庭でチェックし、期間終了後、保護者の確認をもらい点検票を担任に提出する方法をとった。ルールは、時間、場所、守らなかったらどうするか等の具体的な項目を設けた。

### 【アンケートの結果】

#### ① 時間

1日2～3時間以内が多数。午後11時以降は、何も使用しない。土日のみOK。勉強後OK。部活や勉強に支障ない程度。食事中は禁止。緊急時以外携帯使用禁止。

#### ② 場所

リビングや居間（家の中）でのみOK多数。学校、病院では使わない。親がいるところのみOK。自分の部屋、友達の家、外出先もOK。お店の中では使用しない。風呂やトイレ内使用禁止。

#### ③ 守らなかったとき

取り上げ、解約、没収（親あずかり）、次の日使用禁止が多数。時間制限を厳しくする。家族で話し合い。自習を多くする。お小遣い無し。

### ◎小学校（弓ヶ浜中学校・彦名小学校）

小学校では、児童と保護者が話し合い、「メディアコントロール」のコースを設定する方法をとった。 ※（ ）：平成28年度選択率

Aコース：食事中はテレビ等のメディアを消す。 （32%）

Bコース：夜9時以降は、テレビ等のメディアを消す。(28%)

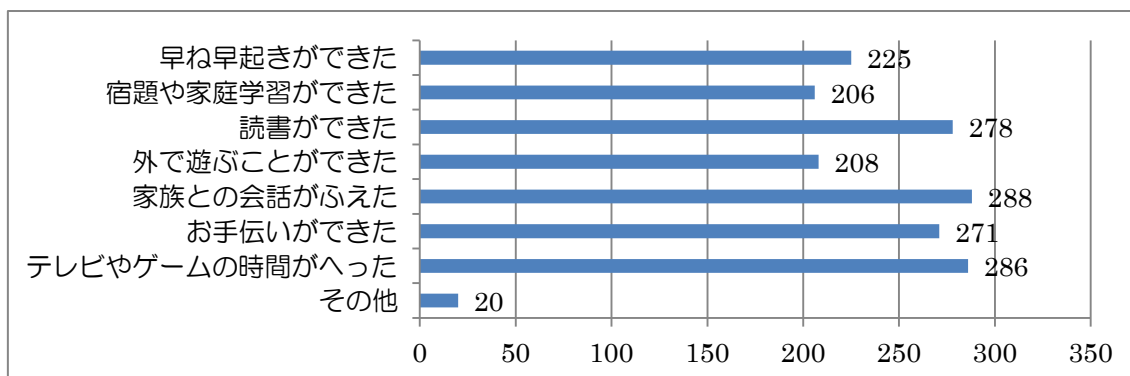
Cコース：メディアの時間を合わせて1日2時間以内 (20%)

Dコース：1日を通してメディアをつけない (2%)

Eコース：それぞれの家庭でルールを決める (18%)

キャンペーン取組後の結果、感想等は、下記のとおりである。

【やっってどうだったか(複数回答：人)】



【児童の感想】

- ・兄弟とゆっくり遊ぶことができた。
- ・本がおもしろいことが分かり、お母さんとも読書ができた。
- ・早く寝ると、学校とかで眠くならないことが分かった。
- ・メディアを減らすと、読書などして、時間を過ごせることがわかった。もっと早く気付けばよかった。

【保護者の感想】

- ・家族との会話が増え笑顔も増えて良かった。
- ・お父さんと体を動かしたり、決められた時間に宿題やお風呂をすませたり、いつもより早く寝ることができた。
- ・保育園の妹と取り組んだことにより、早寝早起きができた。
- ・メディアから離れることで、時間も気持ちもゆとりができた。
- ・毎日1冊は、本を読むようになった。
- ・最近では、親子で一緒に何かすることがあまりなかったのですが、借りてきた本で子どもと楽しい時間が過ごせました。

◎ 『親子で触れ合う時間を持つ』『時間の使い方をコントロールする』など、中学校区で共通の目標を設定し、メディアコントロールを実施していくことが、メディア漬けの現状から脱却し、より良い生活習慣定着の第一歩となると考え、今後も小中学校一貫の取り組みを継続していく必要性を強く感じている。